



みんなで運営 みんなで管理

発行 平成22年4月15日

第 186 号

立川柏町住宅団地管理組合法人

電話 536-6761 〒190-0004

建替え推進委員会便り

委員長

委員会主事業の「専門家による懇談会」を始めて半年が過ぎました。

美名を超え、組合員参加がありこれからの柏町団地に対しての「思い」、「将来」に対するの関心の高さが伺えます。美名の参加者は、委員会だけが集めたのではなく、参加者の口コミで懇談会に来られた方が多数いらっしゃいました。お声をかけて頂いた方に感謝いたします。

懇談会の目的は「組合員の意向把握」です。将来、柏町団地でどの様な住まい方が、ご希望なのか、専門家が聞き上げています。大切なお金（管理費）を使い、調査を実施しているので、無駄遣いにならない様、全組合員に参加頂き、残り六回の懇談会を有意義なものにしたいと考えています。「懇談会なんて自分に関係無い」と思わずぜひ、同じ団地に住んでいる者の義務として、考えて下さい。

懇談会で、個人面談も行なっていますが、五分位で終わる人、一時間以上話す人など、いろいろな意見を専門家に話しています。そのため、時間が無くて帰られた方も多数いらっしゃいました。

せっかく参加されても、専門家と面談されない、意向把握に集計されません。時間が無い方は、委員に一声かけて頂ければ、専門家と時間調整もできます。

委員会の名称に「建替え推進」の一言が入っているため、建替えのための委員会と勘違い人も多数いたと思います。

組合員からその様な苦情を聞き、次年度は名称を変更する予定です。

みんなで、これからの柏町団地の将来を考えてみませんか。

当委員会は、平成二十二年度活動について検討を行い、「地区計画策定準備」を次年度活動として、理事会に答申しました。これからの柏町団地の住まい方を考えると、「一団地指定」を解除して、「地区計画」に移行する事が必要との結論に至りました。「地区計画」建替えにはありません。駐輪場・集会所の増築や、エレベーターの取付けなど、改修や修繕して今と同じ様に住むためにも必要な事だと考えています。そして将来、柏町団地を建替える時にも必要な事です。

今回の活動を、平成二十二年度総会に於いて報告し、多くの組合員に参加いただいた事で、ご意見・要望をお聞きしたいと思えます。みんなで柏町団地の将来を考えましょう。

「ふれあい防災フェア」に参加して

阪神・淡路大震災を経験された芦屋市役所元建設部長・谷川三郎さんの講演「災害地に学ぼう」では、災害に遭いながらも行政での苦勞と市民への思いを語って下さいました。

支援との対応に追われ、市民の手助けはボランティアによってなされ、何よりも多くの方を救済したのは、地域の皆さんの助け合いであったことです。災害では一番にトイレの処理に困ったこと、お風呂の水は常時張っておくとよいそうです。最低限、一日分の水と食料・携帯ラジオ・懐中電灯の用意、ガラスの破片を踏んでも足を傷けないような靴なども考えておくこと。いつも防災について家族で話し合い避難場所を確かめ準備が必要と感じました。自治会連合会・柴崎・富士見支部での防災訓練活動発表では、小さな積み重ねが大きな力となり、ひとりひとりの意識を高めていくことが重要だと思えます。